
秋と春。

春風 爽

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

秋と春。

【Zコード】

N8140E

【作者名】

春風 爽

【あらすじ】

秋と春のほのぼのストーリーです。連載する予定なので、読んでみてください。

プロローグ

「つたぐ… やつをからうるやこって言ひてるだらう。パリパリぽりぽりつむわいんだよー。ちょつとは黙つとけよ春ー。」

勉強机に座つて勉強をしていた秋が後ろを振り返り、春に怒鳴つた。顔を真つ赤にしたかと

思うと、後ろを振り返つたままの秋の顔が真つ青になつていつた。震える手で春を指差し、口

をパクパクさせた。

「何、秋？ 何におびえてんの？ しかも、酸欠の金魚みたいに口パクパクさせちやつてさー。」

手にポテチを持った春はおかしそうくつくつと声を出さずこ笑つた。

「お、お前…なんだよ、この『マリの山』…。」

「何つて？ 見ての通り、お菓子の袋と箱だけぢ？」

春はポテチの袋に顔を突つ込んで「あれ？無くなっちゃつた…」とつぶやくと袋を逆さにして

ポテチの欠片を口に流し込んだ。そして、ぐちゅぐちゅっと袋を丸めてポイと近くに投げ捨て

た。

「お前、この『山』じゃすんだよつー。」

『山』の山を見てみると、ポテチやポッキー、フレッツ、チヂミー^ズ、チロルチ^{ヨウ}ト^ツ、

ボ、ブツカなど、さまざまなお菓子の『山』が床を埋め尽くしていた。
しかも、『十一寧^{じやうねい}』^は『山』

春の右側の一か所に集められ、『山』の口がつぶられていた。

「どうするつて言われても……」

春は自分の左側から『紀州うめフレッシュル』を取り、箱から小分けの袋を取り出してバ

リッと破るとおこしそうにポリポリと食べ始めた。

「…春。反省の色が見られないんだけど……？」

「だつてつまいもん。秋も食べてみる？ 厳選海人の藻塩を使用！
せりに、せりに、紀州産

の大粒“南高梅”を使用してるんだよ。このつまやは食べんと分からん分からん」

早くも2袋田の袋をバリッと破り、1本口にくわえ、もう1本を秋に差し出し「食べむ？」と

聞いた。

「いや、いい。俺はお前のよつて毎朝毎晩お菓子食つてゐるような奴になりたくないから」

「いいじゃん。別に減るものじゃないしー」

「それ、答えになつてないよ。つてか、お菓子は減るし、お金も減るし……」

「まあ、まあ、気にすんなー。」

「……まつたぐ、氣楽なヤツだ」

「」の家にいるのが俺のホントの母親じゃないか?」

「…春?」

「思つてんだり? 違ひ家にいるくせにのんきな奴だつて」

春はプレッソールを口にくわえると、ポキッと音を鳴らしてついたり切つた。

「…思つてない。春は無理じてる。…小れことわ、飴好きだったのに俺があげても食べなくな

つたし……」

「誰だつて、好き嫌いはあるものや」

「誤魔化すなよ」

「誤魔化す？ ホントのことだよ。全部事実だ。俺が母親に捨てられたことだつてな」

「春。もう止めよう」

「あー、コーヒー。ここここ、思い出したやつたよー。悪いな。ごめん」

「いいよ、春は悪くない」

春は照れたように笑うと「うめ。こんな弟で」とつぶやいた。秋には聞こえてなかつたよつ

だが、お菓子を食べるのを再開した春を見て、唇を緩めた。

「やの」とせいいこんだかど...「//せけやんと捨てよつね、春くふ~」

「『メンナサイ』

春はフレッシュルの袋を逆立てて欠片を口に流し込んだ。

プロローグ（後書き）

読んでいただきありがとうございます。
初めて、こんな小説を書いたので、受けがいいかは分りません。もしよければ、今後の参考にしたいのでアドバイスや感想など下さい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8140e/>

秋と春。

2011年1月15日21時10分発行